

児童発達支援 総括表

○事業所名	社会福祉法人 光道園 こども支援センターえがお		
○保護者評価実施期間	R7年1月7日		～ R7年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 22
○従業員評価実施期間	R7年1月7日		～ R7年1月31日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 16
○事業者向け自己評価表作成日	R7年2月28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こども一人ひとりに寄り添った支援を行っている	こどもが安心して活動できるよう、視覚的な情報提示や環境調整を行い、わかりやすい環境を整えている。	・職員間での振り返りの機会を増やし、支援の質を向上させる。 ・保護者にも支援内容が伝わるよう、情報提供の方法を工夫し、支援の考え方やわかり方についてより分かりやすく説明する機会を設ける。
2	専門職が配置されており、質の高い支援を提供できる。	言語聴覚士、理学療法士、看護師が配置されており、職員が日々アドバイスを受けられる環境が整っている。 支援の質の向上のため、専門職による内部研修を実施し、職員の知識や技術の向上に努めている。 こども一人ひとりの発達状況に応じた支援ができるよう、専門職と連携しながら支援を行っている。	・引き続き、法人内の専門職との連携を深め、こどもへの支援や保護者への情報提供に充実を図る。
3	安心・安全な環境が整っている	事故防止・緊急時対応・防犯・感染症対策のマニュアルを整備し、定期的に訓練を実施している。 こどもが安心して過ごせるよう、環境構造化や視覚支援を取り入れ、活動の流れがわかりやすい環境を作っている。	・保護者にも安全対策について周知し、マニュアルの内容や訓練の実施状況を共有する方法を検討する。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者への情報発信の強化が必要	マニュアルや訓練の内容について、保護者への説明や共有の機会が少ない。 情報発信の方法（フェイスブック・ホームページ等）が十分に活用されていない。	・マニュアルの内容や訓練の実施状況について、SNSやお便り等で周知する機会を増やす。 ・ホームページの活用を見直し、情報をよりわかりやすく整理する。 ・法人内の関係部門と連携しながら、情報提供の方法を見直し、より便利でわかりやすい発信を目指す。
2	保護者や地域との交流の機会が少ない	保護者会の開催をしておらず、保護者同士の交流の場がない。 地域住民を招く行事の開催実績がほとんどないため、地域とのつながりが弱い。	・保護者同士の交流の場として、意見交換会や情報共有の機会を設ける。 ・地域とのつながりを広げる方法を模索し、法人や他の支援機関と連携しながら実施していく